

受賞者のご挨拶

株式会社 クツザワ

代表取締役社長 沓澤 淳利 様



ただいまご紹介いただきました株式会社クツザワの沓澤です。

この度は栄えある中小企業振興表彰を賜り、誠にありがとうございます。社員を代表いたしまして心より感謝申し上げます。

弊社は創業者の現会長が、近所の車庫を間借りしてボール盤（金属に穴を開ける機械）などわずかな機械だけで1980年に事業をスタートいたしました。伝統的建造物である内蔵がある町、そして矢口高雄先生の出身地であり、まんが美術館があることで有名な増田町。この町で創業し、40年の歩みの中で技術を磨き続け、海外進出を果たせたのは、創業者である現会長が当時からの「自分がやろうとしなければ何も始まらない」という強い意思のもとに必死に部品を作り、販路を開拓し続けてきた精神にあります。この思いは今も社是「求めよ さらば与えられん」として生き続けています。

創業当時より小さな部品の加工、製造を着実にいき、納入先を確保し、1989年に法人化いたしました。それから業務拡大により現在地に本社工場を構え、コンピュータによる数値制御を行うCNC旋盤加工、高精度研磨加工、鏡面研削加工などの実績を積み重ね、受注増に伴い工場を増築拡大してきております。事業拡大を続けていく中で、専門技術がなくても生産ラインを担当できるよう作業の標準化や簡素化等の改善も続け、2008年にはより迅速的確に西日本のお客様のニーズに応えるため神戸市北区に神



戸工場を新設いたしました。このような改善活動の結果、現在では最短15：30の受注で材料の切り出しから始まり梱包出荷まで17：00には可能となりました。

そして2016年に、ロボットユニットを用いてお客様製造ライン自動化のご提案をするS I er（ロボットシステムインテグレータ）事業により中国に進出しております。金属加工の会社である弊社が、産業用ロボットによる自動化事業に取り組み始めました。中国に進出したのは、長年生産ラインの改善活動に注力しており、生産ラインの自動化も改善の一環であるため、その技術蓄積を強みとして活かせると考え、事業をスタートいたしました。また、中国の製造業では、経済成長に伴って賃金が上昇傾向にある中で、省力化や3K現場のロボットによる自動化がトレンドとなっており、現地での自動化事業に進出しております。このような取組みを評価していただき、2017年に経済産業省「地域未来牽引企業」に選定いただきました。

また、このころに1年で2人の社員が心筋梗塞により救急搬送されてしまいました。いずれも春と秋の季節の変わり目で深夜の就寝時に起こった出来事です。2人とも要のポジションということもあり、職場復帰するまで実際の業務にも影響が大きく、本人たちもリハビリに苦労しました。この経験より、会社の経営と社員の生活の質の向上には健康も重要な要素であると考えようになり、健康経営を始めました。社員の健康という視点で会社を見たときに独身、一人暮らしの方に、体調不良を理由とした休みが多い傾向にあり、該当者を調査したところ、朝食抜き、昼夜外食等栄養バランスに乱れがあることがわかりました。これらを踏まえて取り組んでいる内容としては、せめて昼食だけでも栄養バランスの取れた食事にしてもらうため、弊社が栄養士に考案していただいたメニューを日替わりで提供しております。また、業務中でも取り入れることができるものとして、運動効果のある、大きな歩幅での早歩きを意識してもらえよう通路に各身長別の歩幅の目安を表示しております。体の健康と同様に心の健康も重要なため、社内コミュニケーションの一環で口下手な秋田県人でも取り組みやすいよう、ありがとうの気持ちを手紙にして相手に届ける「ありがとうカード活動」も並行して取り入れております。このような取り組みを評価していただき、昨年度は経済産業省「健康経営優良企業ブライト500」を認定いただきました。

今後の取り組みとしては、会社での定期歯科検診を実施予定となっております。歯周病は万病の元と呼ばれており、歯周病菌は腫れた歯肉から容易に血管内に侵入し全身に回っていき、その際炎症によって出てくる毒性物質が、様々な病気を引き起こし、悪化させる原因となっております。

ります。炎症性物質は、血糖値を下げるインスリンの働きを悪くさせ（糖尿病）、早産・低体重児出産、肥満、血管の動脈硬化（心筋梗塞・脳梗塞）にも関与しています。

現代の少子高齢人口減少社会では、全国的に労働力人口が1998年をピークに減少が続いています。厚生労働省の推計によると2025年にはピーク時より500万人減少するとされており、企業も労働力不足で事業継続が難しい状態にあります。そのなかでも秋田県は、少子高齢最先端の県で、若者の県外流出が顕著であります。そういったなかで企業に求められるのは労働力確保や生産性向上であると考えております。ただでさえ少ない労働人口のなか、地元の企業を選んで働いてくれている社員は貴重な財産であるため、社員の生活の質の向上に重要な要素である健康に対する活動を、コストではなく未来への投資として、より一層労働環境の整備を進めてまいります。

また、企業は労働人口が減少し生産性維持が難しい一方、家族の介護により労働の意欲はあるが、やむなく離職をされている方、定年退職後も働く意欲のある方が増えています。

労働力を確保し、生産性を上げたい企業と、ライフスタイルに合わせた働き方をしたい方を、改善とロボット事業により今後ともマッチングさせていきたいと考えております。

このような取り組みを通じ、社員やその家族の幸福の追求、地域社会に貢献できるよう精進してまいりますので、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

本日は誠にありがとうございました。

「一般部門」

株式会社 クツザワ

代表取締役社長 沓澤 淳利

1 住 所	横手市増田町増田字館花20-1
2 業 務 内 容	金属製品製造・加工業、ロボット事業
3 創 業	1980年5月創業、1989年11月法人成り
4 資 本 金	1,500万円
5 従 業 員 数	132人
6 売 上 高	14億7,700万円

(1) ベアリングケースやシャフトホルダーなどの産業用機械の部品製造を主力とし、金属鏡面加工なども手掛ける。大手機械部品商社(株)ミスミからの評価が高く、同社を安定販売先としている。



本社外観

(2) 設計製図から切削、研削、溶接、表面処理や出荷まで、すべて社内で一貫して行う体制がとられている。また、鏡面研削加工では「砥石のみによる研削」で鏡面加工を行うことにより、表面を鏡のように仕上げる業界最高水準（4ナノメートル）の技術をもつ。



製品一例

(3) 当社が通常加工しているベアリングケースなどについては、受注から出荷まで最短2時間という迅速納期対応を行うなど、高い技術と効率を特色とする事業を行っている。



ロボットによる加工例

(4) ロボット事業にも取り組み、中国現地法人で生産し国内外の製造業者をサポートしており、新事業の展開にも積極的である。